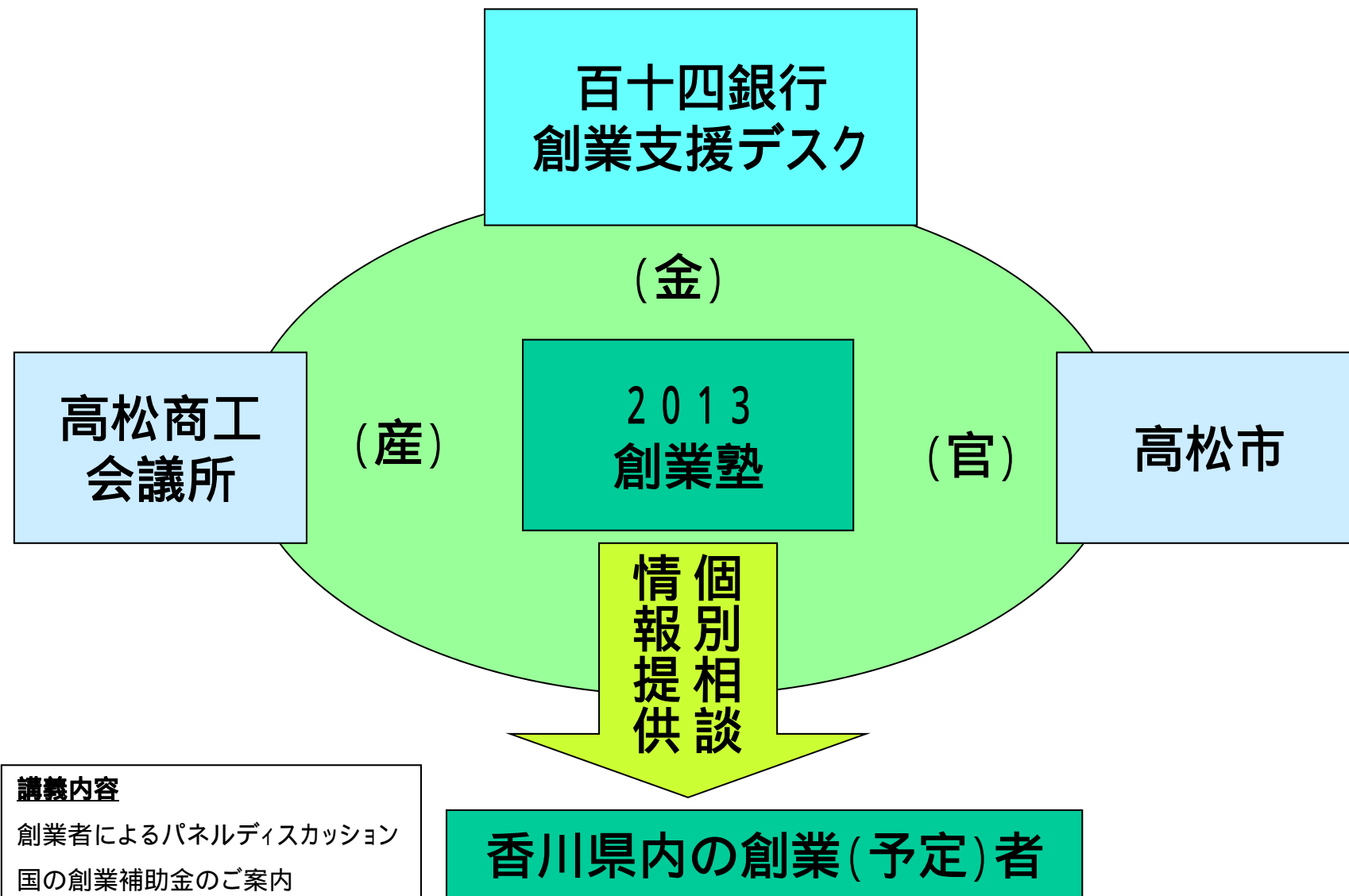
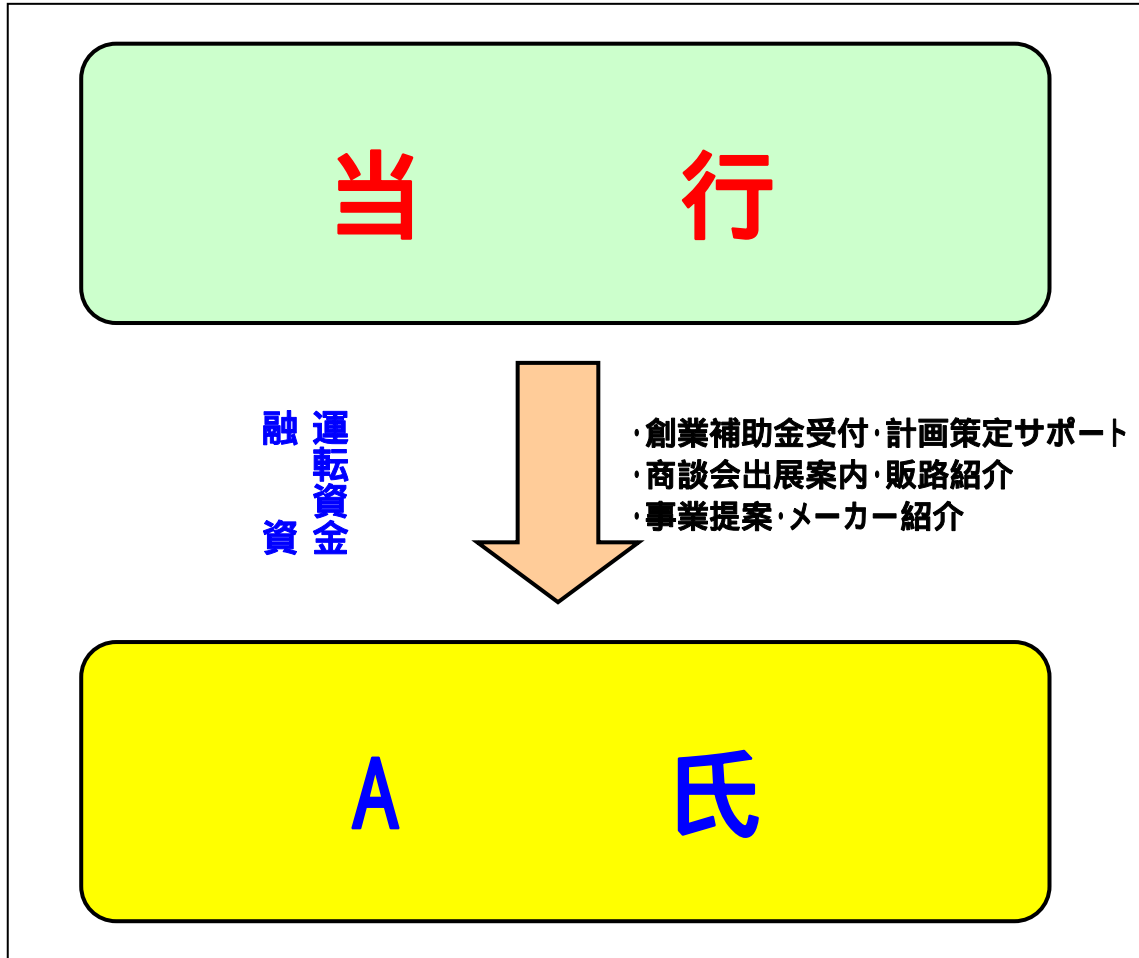


銀行名	百十四銀行
タイトル	「産官金連携による創業塾の開催」
取組み内容	<p><b>【動機（経緯）】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・これから地方経済は人口減少時代に突入し、また、地場産業等の衰退により事業所数の減少が予想される。</li> <li>・そこで、当行は平成 25 年 7 月に、地域経済の活性化に寄与していくことを目的に、チャレンジ意欲のある若者や女性の起業・創業を「事業のプランニングから経営相談」まで一貫して支援する『創業支援デスク』を営業統括部内に設置。</li> <li>・幅広く香川県内の創業者に対して、創業に関する情報発信をしていくことを目的に、産官金の連携による創業セミナーの開催からスタートする運びとなった。</li> </ul> <p><b>【取組み内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・具体的な取組み施策としては、平成 25 年 9 月に高松商工会議所（産）・高松市（官）と当行（金）で「2013 創業塾」を開催。</li> <li>・実際の創業者によるパネルディスカッションや講師を招聘して、創業に関する情報提供を実施。</li> <li>・創業支援デスクとして、国の創業補助金のご案内や申請方法に関する講義の開催及び、創業者との個別相談を実施。</li> </ul> <p><b>【取組みの効果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「2013 創業塾」参加者より 7 件の個別相談があり、うち 4 件が創業補助金の申込に至り、あわせて事業計画書の策定支援を実施した。</li> <li>・継続して相談に対応しており、現在、資金調達支援に取り組んでいる。</li> <li>・個別相談を行った相談者からは、大変好評を得ている。</li> <li>・なお、本年 7 月には「2014 創業塾」を産官金共同で開催することが決定している。</li> </ul>



銀行名	百十四銀行
タイトル	香川県内初「完全人工光型植物工場」による新規就農（新規創業）サポート
取組み内容	<p><b>【動機（経緯）】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・香川県内の企業に勤務していたA氏が退職後、一般的ではない農法（「植物工場」を活用）による農業で起業したいという情報を、当行アグリ担当チームにおいてキャッチ。</li> <li>・全国でも民間企業などが主体となって「完全人工光型植物工場」設備を導入した『工業型』農業が徐々に普及しつつある。農地が不要で農業者でなくても取り組める、天候・気候に左右されない、農薬不使用（安全安心）年間を通じた安定供給などのメリットがある反面、イニシャルコスト・ランニングコストともに一般的な農法に比べて高く、既存の農業者が取り組まない農法。</li> <li>・全国的にも参入事例は少なく（ ）、一般的な農法の野菜などとの差別化（価格面・高付加価値化・販売チャネルなど）が必要。  <small>...H23.3月末時点の全国の「完全人工光型植物工場」施設数：125箇所</small></li> </ul> <p><b>【取組み内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本部、営業店と協働で、以下の内容の創業支援を実施。 <ul style="list-style-type: none"> <li>- A氏に対し、当行より植物工場のタイプ とそれぞれの事業の特徴などを説明し、A氏は「完全人工光型植物工場」での起業を決意。</li> <li>- 完全人工光型植物工場を製造する当行取引先など2社を紹介。メーカー側より工場設備の特徴などについて提案・プレゼンを実施し、最終的に当行がマッチングした当行取引先（県内メーカー）の設備導入を決定。</li> <li>- 国の創業関連の補助金活用も提案し、当行は創業計画書の策定（収支シミュレーション・マーケティング）支援などの実施を通じて、植物工場の事業化をサポート。当行は認定支援機関として運転資金を取上。</li> <li>- 栽培作物の販路確保のため、商談会への出展を案内。  <small>...「完全人工光型」「太陽光・人工光型併用」「太陽光のみ利用型」の3種類</small></li> </ul> </li> </ul> <p><b>【お取引先にとっての効果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業計画の策定をサポートした国の創業関連の補助金申請は事業採択され、栽培試験などを経て、野菜の販売を開始。栽培作物の高付加価値化・差別化が必要な事業モデルであり、引続き販路紹介などを行いながら、A氏の創業後の事業安定をサポートする。</li> </ul>

## A氏の完全人工光型植物工場の新規創業支援スキーム



### 完全人工光型植物工場で生産した野菜の特徴

清潔...虫や土がつかない

安全・安心...農薬不使用

安定収穫...天候・気候に関係なく収穫量が一定

多収穫...一般的な農法に比べ高回転の収穫が可能

農地不要...生産に農地を必要としない農業

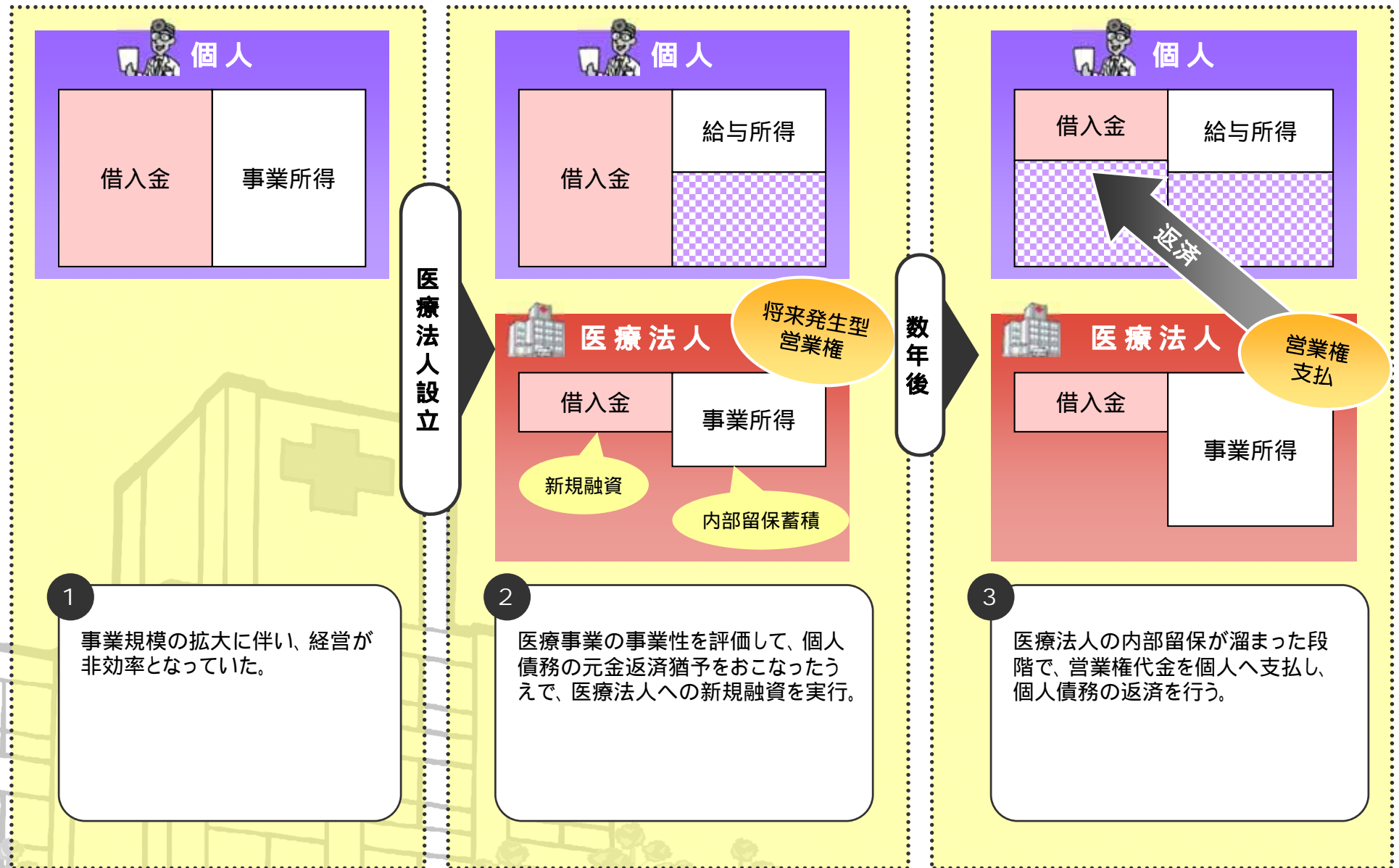
品質安定...人工光・養液栽培による野菜の栄養素などの品質が安定

銀行名	百十四銀行
タイトル	企業の農業参入に対する多面的な事業化支援
取組み内容	<p><b>【動機（経緯）】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・キウイフルーツ栽培により農業参入を目指す香川県内の当行取引先の建設会社 A から、当行に資金面を含めた事業化の相談あり。同時期に、A と連携してキウイフルーツ栽培での農業参入を目指している建設会社 B（当行取引なし）の存在を知り、当行は B にも接触を行い参入計画をヒアリング。</li> <li>・地域金融機関である当行がコンサルティング機能を発揮し、顧客企業からの農業参入の事業化に対する多面的な支援を行うことで、地域密着型金融の実践、成長産業である地域農業の活性化が図れると考え、2社への事業化支援に取り組んだ。</li> </ul> <p><b>【内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当行が香川県などの行政機関、日本政策金融公庫などと連携し、資金調達相談、事業計画策定など、以下のとおり多面的な農業の事業化支援を実践。</li> <li>- 異業種の農業参入ニーズは増えているが、農産物栽培ノウハウ・技術不足 生産物の販路確保 複数年にわたる農業部門の赤字をカバーできる本体事業の体力（資金力）確保 などの課題をクリアしないまま安易に参入し撤退する事例も多いことから、資金調達相談窓口である当行が生産・収支計画などの事業計画策定をサポート。</li> <li>- 特にキウイフルーツなどの果樹経営については、他の農作物生産経営と違い、収穫までの育成期間が数年におよぶなどの特性があり、経営や生産の安定に時間を要することから、その特性を理解した事業化支援に留意。また、生産計画や技術確保の検証および農地・補助事業の情報提供等に当たっては、行政機関などと連携。</li> <li>- 事業の立ち上がり不安定な果樹経営の資金調達において、当行を窓口として日本政策金融公庫の資金（農業制度資金、当行が代理貸）を活用。</li> </ul> <p><b>【お取引先にとっての成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当行の事業化支援により、2社ともにキウイフルーツの栽培事業に取り組んでおり、本年より本格的な収穫・販売となる予定。</li> <li>・香川県が栽培推奨する『さぬき讚フルーツ』の生産拡大、耕作放棄地の解消にも繋がる取り組み。</li> </ul> <p>さぬき讚フルーツ...糖度など一定の品質基準を満たす香川県オリジナル品種を中心とした香川県産果物のブランド（キウイフルーツも含まれる）</p>

銀行名	百十四銀行
タイトル	業務提携先を活用した現地通貨建て資金調達支援の取組
取組み内容	<p><b>【動機（経緯）】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自動車用の合成樹脂製内装・外装部品等製造業の A 社は、取引先からの要請により、平成 24 年にインドネシア現地法人を設立。</li> <li>・ 現地法人の機械設備等支払資金として、米ドル建直接融資での調達を検討していたが、最終的に為替リスク回避のため、インドネシアルピア建てでの調達申出があった。</li> <li>・ 当行においては、建値のないインドネシアルピア建てのスタンドバイ L/C 発行に対応するため、内部のシステム面や与信管理面での確認、調整作業を実施したほか、保証債務履行請求に備えたインドネシアルピアの調達先を確保した。</li> </ul> <p><b>【取組内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 当行とバンクネガラインドネシアは平成 24 年 8 月に業務提携の覚書を締結し、平成 25 年 8 月より同行のジャパンデスクに行員 1 名をトレーニーとして派遣している。</li> <li>・ A 社からの調達申出に対応してバンクネガラインドネシアと、保証に基づく融資の可否や契約書内容にかかる協議を実施。協議においては、本部（市場国際部）とトレーニーが情報交換を密にして協働した結果、A 社の希望する内容での融資実行予定となった。</li> <li>・ さらに、融資実行にあたり、当行からのスタンドバイ L/C 発行日、現地での融資契約締結、融資実行日等につき、トレーニーを通じてバンクネガラインドネシアと綿密な調整を行い、A 社の希望する日程での融資実行に至った。</li> </ul> <p><b>【成果（効果）】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ A 社の希望する日程、通貨、金額にて融資実行できたことにより、資金繰りも含めた現地法人の円滑な運営に寄与できた。</li> <li>・ 当行としては、本件実行により A 社からの信頼が高まり、今後一層の取引深耕が期待できる。</li> <li>・ 本件実行により、インドネシアルピア建融資のノウハウが蓄積できたため、今後同様の案件に対して、スムーズに対応できる。</li> <li>・ 業務提携先であるバンクネガラインドネシアを通じた実績が計上できたことにより、同行との協力関係がさらに深まったとともに、トレーニー派遣の意義を見出すことができた。</li> </ul>

銀行名	百十四銀行
タイトル	医療機関の事業再生を通じて地域経済の活性化に貢献
取組み内容	<p><b>【動機（経緯）】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・取引先A氏は、地域の中核医療機関を営む個人開業医。事業規模の拡大に伴い経営が非効率となっていたことに加え、A氏の年齢も高齢に差し掛かっており、事業の立て直しと将来の事業承継に備えて医療法人への移行を検討していた。しかし、既存債務と法人としての運転資金調達について下記の問題があったため、当行に相談があったもの。</li> </ul> <p>（問題点）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 県による医療法人の設立認可時には、原則として医療行為に係る設備およびその設備に係る借入金以外は、医療法人の引受債務として認められないという制約があることから、銀行借入金の大半を運転資金として調達していたため、法人成りした後も医療事業にかかる借入金が個人に残ること。</li> <li>○ 事業規模の拡大とともに銀行借入金が増大しており、法人立ち上げ資金や運転資金の資金調達が困難な状況にあること。</li> </ul> <p><b>【取組み内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医療分野に強みをもつコンサル会社と連携し、コンサル会社が法人成りスキームを策定し、当行は、法人成り後の事業計画を策定した。</li> <li>・従来であれば、個人債務の元本返済猶予を行うと新規融資の対応が難しくなるが、A氏の医療機関は当地唯一の透析医療を行う総合病院であり、当地における優位性は当面保たれる蓋然性が高いため、売上の安定推移が見込まれるうえに、法人組織となることで法人と個人の所得が分離され、税負担も軽減されることで内部留保の極大化が図られることを評価し、個人債務の元本返済猶予と法人への新規融資を行った。</li> <li>○ 個人債務の返済スキーム 個人債務の元金返済猶予を行うことによりA氏への役員報酬を抑えることを可能とし、当面は医療法人経営の安定を優先した。その上で、医療法人の内部留保が増加する数年後に、医療法人からA氏へ営業権代金を支払うことで個人債務を一括返済する。</li> <li>○ 法人立ち上げ資金の調達 当行が認定経営革新等支援機関として経営計画を策定するとともに、継続的な経営支援を行うことで信用保証協会の「経営力強化保証」を利用し、新規融資で調達した。</li> <li>○ 運転資金の調達 不動産等は個人借入の担保として提供しており固定資産の資産余力が少ないこと、および、経営計画の進捗状況をモニタリングするうえで診療報酬債権の動きを把握しておく必要があることから、診療報酬債権を担保とする協保付ABLを導入することとした。本来であれば1年程度の取引実績が必要なため、法人成り直後に導入することは困難であったが、個人事業での実績があることから、信用保証協会と粘り強く交渉し、医療法人としての2ヶ月間の実績と個人事業時の実績をもとに協保付ABL導入を可能とした。また、医療法人として2ヶ月間の実績ができるまでのつなぎ資金については、プロパー貸出で対応した。</li> </ul> <p><b>【成果（効果）】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民の安全・安心を担う中核医療機関の経営安定を通じ、地域経済の活性化に貢献する取組みとなった。</li> </ul>

# 医療機関の事業再生を通じて地域経済の活性化に貢献





銀行名	百十四銀行
タイトル	金融教育活動
取組み内容	<p><b>【動機（経緯）】</b>  将来を担う子どもたちにとって、お金の流れや経済の仕組みを学ぶことは重要であると考え、小・中・高・大学生の段階に応じて金融知力を身につけることができる機会を提供するために様々な金融教育活動を行っている。</p> <p><b>【取組み内容】</b>  <b>地元大学法学部特別講義</b>  金融業界について理解を深めていただくため、行員が講師となり、銀行業務について法律との関係を交えながら講義を行っている。</p> <p><b>エコノミクス甲子園</b>  高校生を対象にした金融知力を身につけるクイズ大会で、平成20年より毎年開催している。</p> <p><b>職場体験学習</b>  各営業店が、地元の中学校などを主たる対象としてさまざまなカリキュラムを企画し、ロビーマネージャーの体験や銀行内の見学、ビジネスマナーについての講習会などを開催している。</p> <p><b>親子体験教室</b>  香川県金融広報委員会と連携し、小学生およびその保護者を対象に、銀行の基本的業務や紙幣の偽造防止技術についての話のほか、本店ビル内を見学したり、本物の1億円や1キロの金塊に触れる体験の機会を提供している。</p> <p><b>【取組み効果】（上記取組み内容ごとに記載）</b>  就職する前の早い段階から金融業界についての知見を広げる機会として大学側から好評を得ており、金融志望の学生への有用な情報提供にも役立っている。</p> <p>クイズを通じて楽しみながら金融知力を身につける場として、また、金融に関する興味を持つ入口体験として役立っており、参加者からの評価も高い。</p> <p>銀行とはどのような仕事をする所か行員の話の聞いたり、実際に銀行内を見学することで、銀行の業務や役割、重要性についての理解が深まったという感想が多く聞かれている。また、生徒たちが将来の職業について考える機会としても役立っている。</p> <p>参加した子どもたちや保護者から、銀行のお金を「預かる」「貸す」「送る」という仕事や金融について興味を持ったという感想が多く寄せられている。また、本物の1億円や金塊に触れる体験は参加した小学生だけでなく、保護者からも大変好評を得ており、銀行を身近に感じていただけるイベントとなっている。</p>

銀行名	百十四銀行
タイトル	フォレストマッチング協働の森づくり活動
取組み内容	<p><b>【動機（経緯）】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成16年1月に発生した山林火災により、大きな被害を受けた香川県直島の緑を取り戻すために企画された「みどり創生 in 直島」に参加したのが当行の森林活動のはじまり。</li> <li>・香川県では、平成16年に台風災害、翌17年に大規模湧水に見舞われており、森林の整備と保全の重要性が強く認識されている。</li> <li>・森林は多様な機能を持っており、その保全活動は社会的意義があることから、創業130周年の記念行事、およびCSRの一環として、平成20年11月より香川県や高松市などとパートナー協定を結び、『百十四の森』づくり活動を開始。</li> </ul> <p><b>【取組み内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成20年～平成24年は、香川県高松市塩江町にて植林活動を実施。のべ217名の行員とその家族で0.7haにコナラを1,400本植林した。</li> <li>・香川県では数十年間植林中心の活動が行われてきた結果、植林はほぼ一巡しており、現在必要とされる活動は過去に植林された森林の除間伐・枝打ちと竹林整備に移ってきている。そのため、平成25年は、香川県丸亀市綾歌町にて過去に植林された森林の除間伐、枝打ち作業を行った。</li> <li>・今後は、この除間伐・枝打ち作業を行う森林保全活動に取組んでいくことにしている。</li> </ul> <p><b>【取組みの効果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・行員の森林保全に対する理解が深まっていると同時に、若い行員も多く参加することで、社会貢献意識の高い行員の育成に役立っている。</li> <li>・平成24年までの植林活動におけるCO<sub>2</sub>吸収量は、5年間の累計で8,400kg-CO<sub>2</sub>の認定を受け、植林活動が環境保全に役立っている。</li> </ul>

銀行名	百十四銀行
タイトル	「心の詩」コンサートの開催
取組み内容	<p><b>【動機（経緯）】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・お客さまの日頃のご愛顧に感謝し、地域文化に貢献できるよう、創業114周年を迎えた平成4年より毎年開催している。</li><li>・地域の皆さまとより多くの「ふれあいの場」を持ち、豊かな地域社会作りに貢献することを目的としている。</li></ul> <p><b>【取組み内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・コンサートは、ご応募いただいた方の中から抽選で無料ご招待している。</li><li>・一般の方から、心に残った思い出を綴った随想文と思い出の曲を募集し、随想文の朗読と曲を演奏するスタイルで来場されたお客さまに楽しんでいただいている。</li><li>・毎回ゲストをお迎えし、スペシャルコンサートも開催している。</li></ul> <p><b>【取組みの効果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・平成25年で22回目を迎えるが、早期に定員に達するなど、毎年ご好評いただいております。地域のイベントとして定着している。</li><li>・コンサートを楽しみにしていただいているお客さまが多くおり、「あの随想作品がもう一度聞きたい」「毎年楽しみにしている」などのお声をいただいている。</li><li>・地域の皆さまに銀行をより身近に感じていただく機会となっている。</li></ul>